

## 第7章 MaaS最新事情

最新情報よ！

2018年10月4日  
トヨタとソフトバンクは  
共同出資で  
「モネ・テクノロジー」を設立  
出資比率はトヨタ：49・75%  
ソフトバンク：50・25%

トヨタはMaaSに参入せず  
MaaSを提供する  
サービス事業者（ソフトバンク）に  
コネクテッドカーや自動運転車  
その管理基盤を提供する  
「プラットフォーマー」になるらしい

Soft bank  
Honda

出資  
2250億円

この発表前日に  
宿敵ホンダがGM傘下の  
GMクルーズに出資  
ソフトバンクは  
GMクルーズに2250億円  
出資しているらしい

最大のライバルは  
Googleってことね

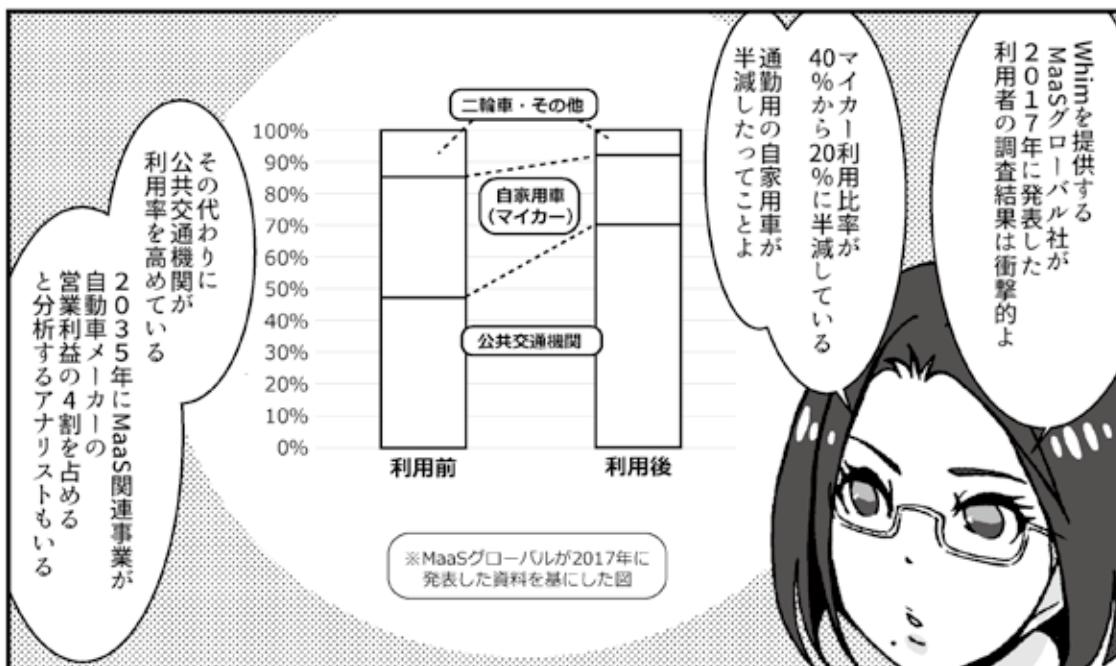
トヨタもホンダもGMも  
孫さんの「駒」？

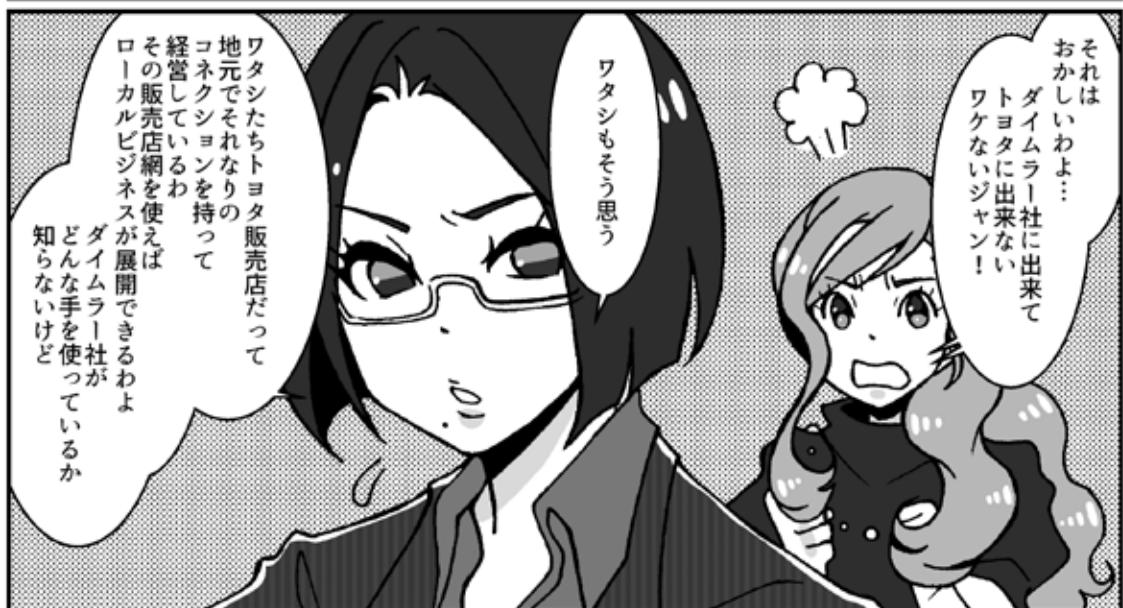
へえ、週刊誌に書いてあつたことが  
本当にあつたんだ：

国際金融資本カルテルの  
手の平の上で踊らされる  
グローバル資本主義国家  
みたいな構図か？（笑）

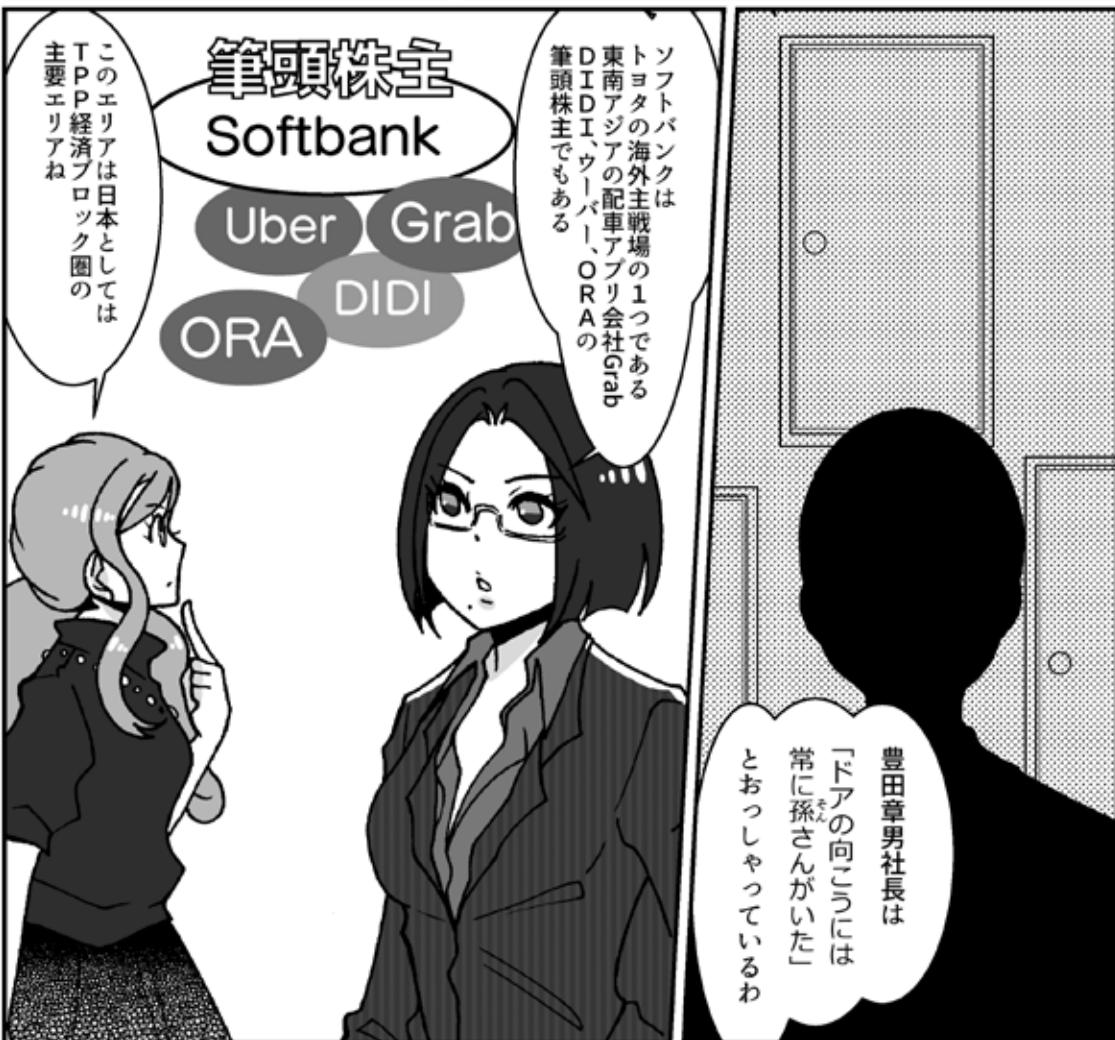
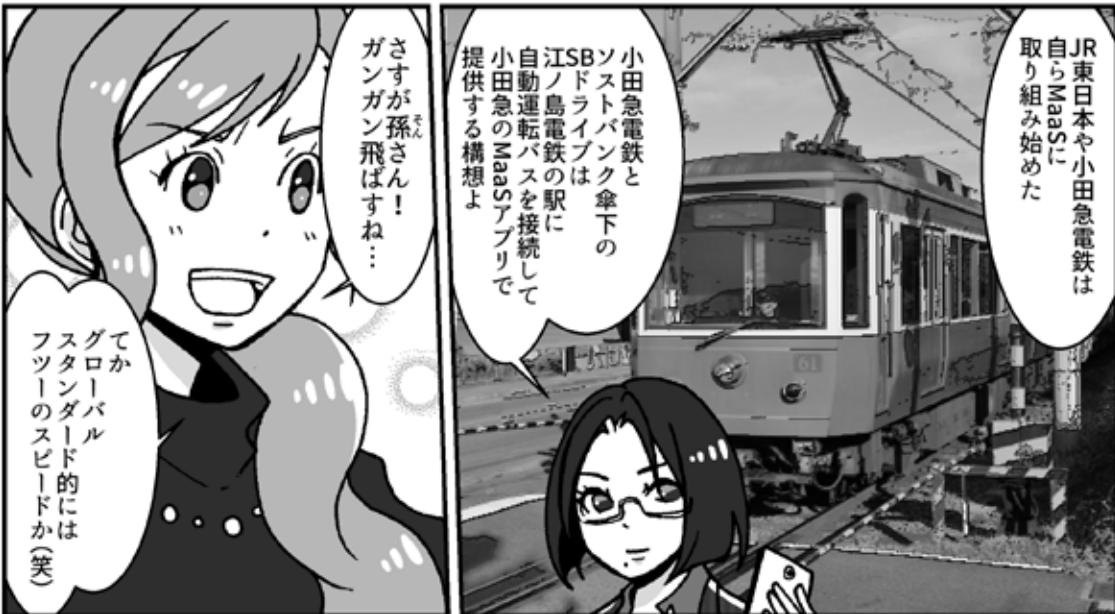
ソフトバンクがWhimみたいに  
クルマ、鉄道、バスなど  
あらゆるモビリティを連携して  
移動サービスを提供する構想ね







JR東日本や小田急電鉄は  
自らMaaSに  
取り組み始めた



# Guardian

トヨタの自動運転車は  
Uberの自動運転ソフトでも  
ソフトバンクの  
自動運転ソフトでも動くワケ?  
トヨタも  
自動運転ソフトを作っているん  
でしょ?

(※58)

トヨタの自動運転ソフ  
トは  
自動運転ソフ  
トでも動くワケ?  
トヨタも  
自動運転ソフ  
トを作っているん  
でしょ?

(※58)

自動運転システムの開発担当  
松尾芳明主査 談

「ガーディアン」と  
MaaSサービス事業者の  
ソフトを兼用する  
考え方の  
ようだわ

また自動運転車では、  
さまざまにセンサーが常に周囲を見張つていて、  
事故の兆しを事前に察知するためには、  
緊急自動ブレーキなどの対処療法治的な安全ではなく、  
危険を予防する安全な運転が実現されます。  
トヨタ自動車ではドライバーを黒子のようにサポートし、  
そもそも危険に近づかないよう運転を目指す考え方方を、「  
ガーディアン」(高度安全運転支援)と呼んでいます。

トヨタ自動車では安全安心を実現するためには、  
我々クルマの尊守やインフラの整備など、  
また本物の安全安心を実現するためには、  
原因を突き止め、それを次の開発に生かし、  
市場投入後も調査を続けるといつた  
繰り返しを徹底しています。

<トヨタHPより>

「ガーディアン」は  
自動車メーカーならではの  
クルマの安全走行に特化した  
機能を提供する

MaaSサービス事業者の  
ソフトはそれ以外の  
そのサービス事業に特化した  
機能を提供する

ダイナミックマップの  
作製も必要よね  
一社でも抱え込まないで  
分業して協業する方が  
上手いくかも知れないね:





…これだけは言えると思うのだけど  
最近…自動車業界だけじゃないけど  
「検査ミス」「データ改ざん」  
関連の報道がやたらと多いじゃない

トヨタは  
それはないよね？



ワタシに言わせれば  
製造業に従事する以上  
それは最低限の「資格」  
条件よ

派手な自動運転開発やEV開発  
マシーンアリノミーの  
マーケティングなんかは  
抑々その最低条件(資格)を  
クリアした企業がやるべきことよ



トヨタは田舎臭い  
そこはクリアしている  
ワタシは偶々  
父親が創業者の2代目だけど  
本当に「運」が良かつたと思っているわ

顧客目線

最低限の条件を  
クリアしていない  
自覚(顧客目線)がない  
自動車メーカーが多過ぎよね…



トヨタは  
「IBM」になれるかどうか  
わからないけど

その製造業の「良心」さえ  
失わなければ  
いくらでも  
生き延びる道はあるわよ

